

経済学部 現代ビジネス学科

教育研究上の目的

現代ビジネス学科は、企業活動を経営や商取引の視点より理論的、実務的に学修し、現代のビジネス社会を総合的に理解し、実践する技能を備えた人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、経済学部現代ビジネス学科では、現代のビジネス社会を総合的に理解し、ビジネスの第一線で役立つ能力を備えた人材の育成を最終目標とします。

現代のビジネス社会は、グローバル経済の進展、国際商務ビジネスの変容、65歳定年制導入に伴う企業経営の根本的な変革など、企業経営やビジネスのあり方が大きな変革期を迎えています。このような急速に変化する複雑で多様なビジネス社会で活躍するには、現代社会のビジネス現象を多面的に認識できる専門性と課題を克服する実践能力を備えることが必要とされます。

本学科では、少人数の長所を活かしたゼミナール及び学科独自の初年次専門教育と3つのコース制専門教育を中核に展開しつつ、英語教育と情報教育を重視して、ビジネスの第一線で活躍できる基礎能力の養成に努めます。さらに、教養教育、キャリア教育を含む全学共通の基礎教育と有機的に関連させることにより、4年間の学習を通じて、コミュニケーション能力と自ら学ぶ力を涵養して、現代のビジネス活動において国際的な視点で課題を解決できる能力を備えた人材の育成を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本学科のカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や資質を身につけていると判断し、学士（商学）が授与されます。

1. 修得した専門知識と専門技能を現実のビジネス活動において適用・実践できる能力
2. 現代社会において直面するさまざまな問題を国際的な視点で解決できる能力
3. 幅広い教養とコミュニケーション能力
4. 情報化社会に必須の基礎的な情報処理技能
5. 社会人として求められる基礎的素養

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学科では、幅広い教養を身につけるとともに、現代社会のビジネス現象を多面的に認識できる専門性とビジネスの第一線で実際に役立つ能力を備えた人材を育成するために、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 外国語科目、教養科目及び経済学・経営学・商学という広範な専門分野にわたって、広い知識と教養を身につけられる多彩な分野の科目を配置しています。
2. 初年次教育の中心となる科目として学部共通の「FYS（ファースト・イヤー・セミナー）」及び本学科のための「経済入門」を配置しています。
3. 系統的により深く専門科目を修得できるように、①貿易と国際ビジネスを学ぶコース、②経営とマーケティングを学ぶコース、③企業と会計を学ぶコースという3つのコースを設けています。
4. 企業経営、流通・マーケティング、貿易、会計等の実務的科目のみならず、アジア、中東、ヨーロッパ、アメリカ等の国際地域経済に関する科目を開講しています。
5. 経済学・経営学・商学・会計学という広範な分野から選べる特定の多彩なテーマに少人数で取り組むゼミナールを2年次第4セメスターから4年次まで設置しています。
6. 情報化時代に対応できる基礎的な情報処理能力を養う「経済情報処理」と高度な実用英語能力を養う「インテンシブ（英語）」コースを少人数クラスによって開講しています。